



*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。長田中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

1人1台端末の持ち帰りについて・・・

～ミライシード・ドリルパークや学習まとめサイトの活用で、主体的な学びを！～

「1人1台端末を家庭に持ち帰って、どのように活用するのか」と言った意見を聞くことができますが、子どもが情報端末を家庭に持ち帰るのには、次のような理由があります。

OECDが実施した調査では、日本の子どもは海外と比較して、家庭での余暇でICTを活用する割合は高いのですが、ゲームや動画視聴など学習とは直接関係の少ない利用が大半を占めます。一方で、家庭で学習に必要な情報を検索したり、調査したことをまとめたりするなど、学習でICTを活用する頻度は他国と比べて極めて低い結果が見られました。家庭で情報端末などを活用した学習が十分ではなく、情報端末を授業の学習場面で活用していても、家庭での「日常の学習ツール」として活用できていない現状があります。今後は、情報端末を持ち帰り、自分で学習内容や学習方法を決定するなど、主体的な学びの中で活用していくことが求められてきます。

長田中学校では、これまで定期的に1人1台端末を持ち帰り、教科の課題に取り組んだり、タイピングコンテストの練習をしたりしてきました。今日の1、2年生の持ち帰りも、13日(火)のタイピングコンテストの練習がメインですが、三連休である程度時間もあるので、自分で学習内容を考え、家庭学習でもICTを活用してみてもはどうでしょうか。

ご存じのとおり、生徒のみなさんの1人1台端末には、ミライシード・ドリルパークがインストールされています。5教科のベーシックドリル、パワーアップドリルがそれぞれ収録されていますが、普段、これらの問題に取り組む機会は少ないのではないのでしょうか。1問1答式で、解答は自動で正誤判定し、即時フィードバックされます。また、間違えた問題もピックアップして解き直せるので、効果的に学習することができます。

	ベーシックドリル	パワーアップドリル
国語	約2,250問	約250問
数学	約2,200問	約130問
理科	約785問	—
社会	約860問	—
英語	約710問	約300問

また、数学には「算数・数学学び直しドリル」があります。初めにチェックテストに取り組むことで、習熟度に合わせた特訓ドリルを自動出題してくれます。わからなかったところを集中的に学習することができるので、効率的に学習できます。また、前後の学年の関連する単元を系統図で確認できるので、わからなかった問題に関連する単元をすぐに学び直すことができます。また、取り組み履歴から学習内容の定着を把握することができます。ポイント解説動画(中学校1、2年向け)も収録されているので、動画を見ながら学び直しができます。

次に石川県教育委員会が提供しているWEBサイト「学びの支援広場」についてです。このサイトでは、主に①文部科学省が開設している学習のまとめサイト、②3学期の学習内容・教科書のページ・関連動画・チャレンジ問題が閲覧できます。学校のホームページにアクセスして、この学校だよりを開き、下のURLからアクセスできますので、一度覗いてみてほしいと思います。

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/gakkou/gakusyuu-ooen/gakusyuu-ooen.html>

1. 文部科学省より

- (児童・保護者向け) きみの好き! 応援サイト「たのしくまなび隊」(外部リンク)
- (児童生徒・保護者・教職員向け) 子供の学び応援サイト(外部リンク)
- (保護者・教職員向け) 令和6年能登半島地震 学習コンテンツ等(外部リンク)
- **Excel** (教職員向け) 子供の学び応援サイト掲載コンテンツ情報(文部科学省オープンデータ) (エクセル: 94KB)

中学校

みなさんの学年と教科を選んでください。教科書の内容に関係した情報ができますので、学習の参考にしてください。

1年生	国語(東京書籍)	社会(東京書籍)	数学(東京書籍)	理科(東京書籍)	英語(東京書籍)
2年生	国語(東京書籍)	社会(東京書籍)	数学(東京書籍)	理科(東京書籍)	英語(東京書籍)
3年生	国語(東京書籍)	社会(東京書籍)	数学(東京書籍)	理科(東京書籍)	英語(東京書籍)